

第3回 名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会

日時 令和7年10月16日（木）13：30～

場所 名古屋市役所 本庁舎5階 正庁

次 第

1. 開会

2. 住宅都市局長あいさつ

3. 議事

まちづくり構想の策定に向けて

4. その他

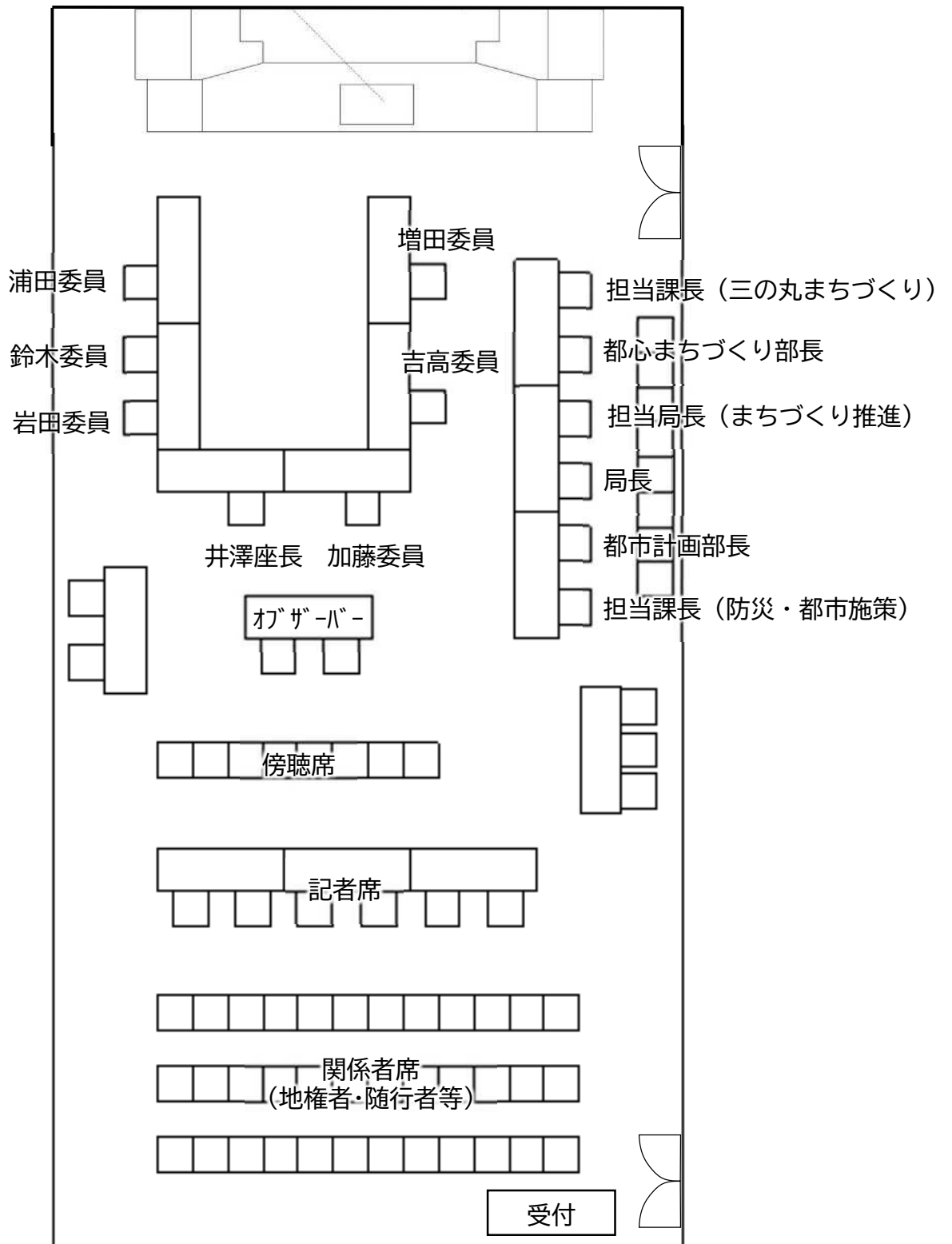
《配布資料》

- 配席図
- 委員名簿

説明資料はこちら



配席図



名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属	備考
井澤 知旦	名古屋学院大学 名誉教授	
岩田 英之	独立行政法人都市再生機構 中部支社 都市再生業務部長	
浦田 真由	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授	
加藤 義人	岐阜大学 客員教授	
鈴木 弘司	名古屋工業大学大学院 工学研究科教授	
増田 幸宏	芝浦工業大学 環境システム学科教授	
吉高 まり	一般社団法人バーチュデザイン 代表理事	

(案)

第3回 名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会

- 開催日 令和7年10月16日（木）
- 時 間 13:30～15:30
- 場 所 名古屋市役所 正庁

(議事) まちづくり構想の策定に向けて

議事：まちづくり構想の策定に向けて

昨年度の振り返り

第1回懇談会
(R6.9.9)

1. はじめに

構想策定の背景・目的、構想の役割、対象範囲 など

2. 地区の特性（現状・課題）

立地特性、都市基盤、地域資源、各種規制 など

3. 新たな潮流や社会情勢の変化等

新たな潮流や社会情勢の変化、まちづくりの方向性 など

第2回懇談会
(R7.2.4)

4. めざすまち

理念、基本方針、めざすまち

5. めざすまちの実現に向けて

まちづくりの進め方、組織・推進体制、ロードマップ、アクションプラン

昨年度の振り返り

第1回懇談会での主な意見

事項	意見概要
レジリエンス・サステナビリティをまちの魅力に	● 国内外に向けたレジリエンスの打ち出し ● リジェネラティブで価値を創出
まちを開く	● 市民や観光客にどのようにまちを開くか
世界を牽引	● 世界を引っ張っていくくらいの視野で検討を
訪れたいまちへ、人を呼び込む	● 三の丸でしかできない体験を ● MICE機能を導入し、滞在を増やす
働きたいエリア、経済活動をつくる	● 働きやすいエリアに ● 民間投資や新たな人を呼び込む ● 都心である以上、経済活動を備える
移動とアクセスを改善	● SRTの活用 ● 自動運転・中速モビリティを取り込んだまちづくり
歴史・本物を活かす	● 重要文化財の活用、城が見えるまちづくりを展開 ● 三大祭の復活
魅力的な景観を形成	● 建物群としての景観づくりが課題 ● 豊かなみどりを活かした特徴づけができる
コミュニティ活動をつくる	● 組織や立場を超えて、エリアを議論する「三の丸町内会」をつくって活動

昨年度の振り返り

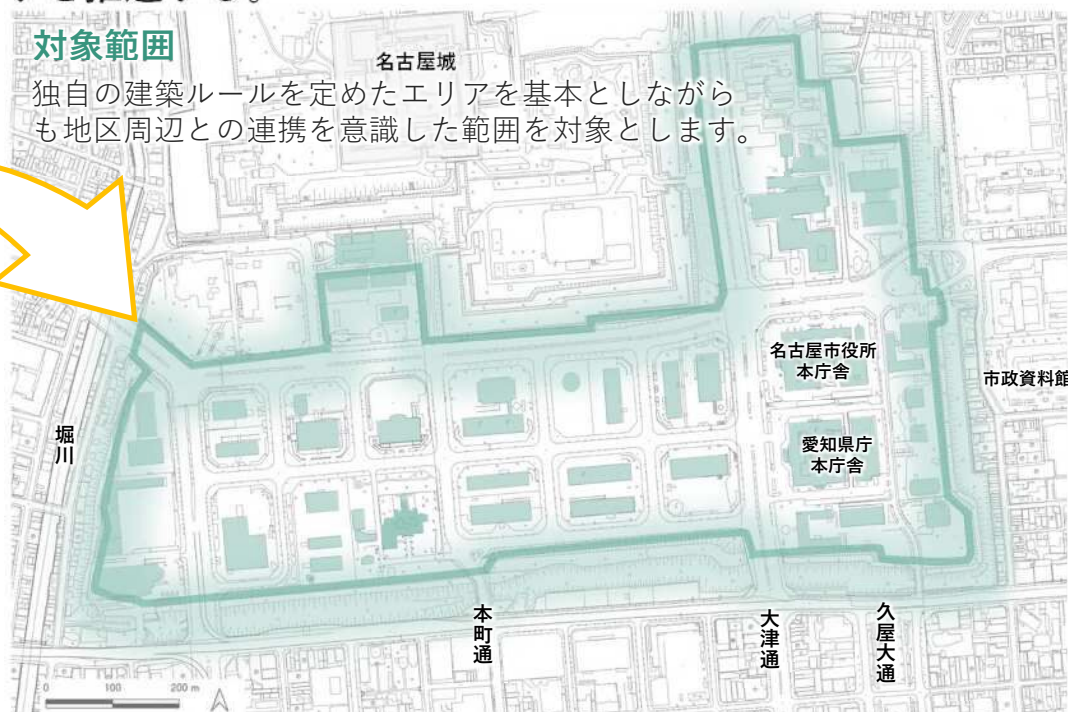
第2回懇談会での主な意見

事項	意見概要
めざすまち	● まちに様々な機能があるのは良いが、いろいろあると特徴がぼやけてしまうため わかりやすい特徴をつくると良い
	● 災害に強いこと・先進的な取組を行うことが魅力になる
	● 女性や若者にまちをひらくことを打ち出すべき
	● 新旧の建築物を融合させることが重要
地区の空間の考え方	● 天守のビューを活かした空間を形成し、ブランド性を上げる必要がある
	● 道路空間のあり方について、 移動性と滞在性を高める空間の位置付けをゾーニングとセットで整理 することが必要
地区内外の主な人の動き	● 久屋大通からの人を呼び込む仕掛けを考える
アクションプラン	● 三の丸が動くチャンスを活かすためには、 まちづくりを個別ではなく連携して進める ことが重要

構想（案）の検討について

構想策定の目的

- 名古屋城三の丸地区は、国・県・市の官公庁施設が集積する**中部圏の行政機能の中核**で、独自の建築ルール等により、**緑豊かな整然とした官庁街が形成**されている。しかし、昭和30年代から40年代にかけて建設された**多くの官公庁施設は老朽化が進んでおり今後、一斉に更新時期を迎える**。
- 対して、**地区周辺では**、久屋大通の再整備や愛知国際アリーナ（IGアリーナ）の開業や木造天守復元事業をはじめとする名古屋城の整備など、**まちの魅力向上が進んでいる**。
- こうした地区内外の変化の中で、当地区の役割や位置づけを整理し、**当地区をリニア時代のあいち・なごやの新たな顔として成長・発展させていくために**、社会経済・環境の潮流や、名古屋駅地区・栄地区などの**周辺地区とのつながりを意識したまちづくりを進める第一歩として、まちづくり構想を策定**。
- まちづくり構想の策定を機に、**当地区への意識やまちづくりへの関心を高めるとともに、多様な主体で将来像を共有・連携して公民共創のまちづくりを推進する**。



構想（案）の検討について

構想（案）の構成

01 三の丸ってどんな場所？

地区の歴史 / 地区の文化など / 現状と課題

02 なぜいま 三の丸でまちづくり？

取り巻く状況 / 周辺から見た三の丸 / 三の丸への期待

03 三の丸のまちづくりとは？

まちづくりの意義 / まちづくりの基本的な考え方 / まちづくりの理念

04 めざすまち

まちづくりの基本方針 / 将来イメージ

05 めざすまちの実現に向けて

まちづくりの進め方 / まちづくりの組織体制 / ロードマップ

構想（案）の検討について

01 三の丸ってどんな場所？

地区の歴史と文化など

地区の歴史

江戸時代

250年続いた武家屋敷の時代

- 弥生時代中期より集落が形成。
- 「清須越」により今につながるまちが形成され、当地区は名古屋城の本丸、二之丸を囲み、守りを固める尾張上級藩士の武家屋敷地となった。

明治時代～戦時中

陸軍用地から空襲による焼失

- 廃藩置県により国有地となり、軍の施設がおかれた。
- 昭和初期に現在の名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎が建設。両建物は奇跡的に戦災を免れることができた。

戦後～現代

戦災復興により官庁街に転換

- 戦災地復興計画基本方針により官公庁施設としての活用が決定。
- 国内でも数少ない国、県、市の庁舎などが集積した官庁街が形成。

各時代で 特定の利用に限られた、“とじられたまち”とも言える歴史を歩んできた

地区の文化など

- 尾張徳川のまちづくり 宗春による繁栄
- 現代の祭りのルーツ 名古屋三大祭り
- モノづくり都市の原点 今につながる技術
- 本町通・大津通・久屋大通の3つの南北の都市軸
- 2つの重要文化財
- お堀（三之丸外堀）

構想（案）の検討について

01 三の丸ってどんな場所？

現状と課題

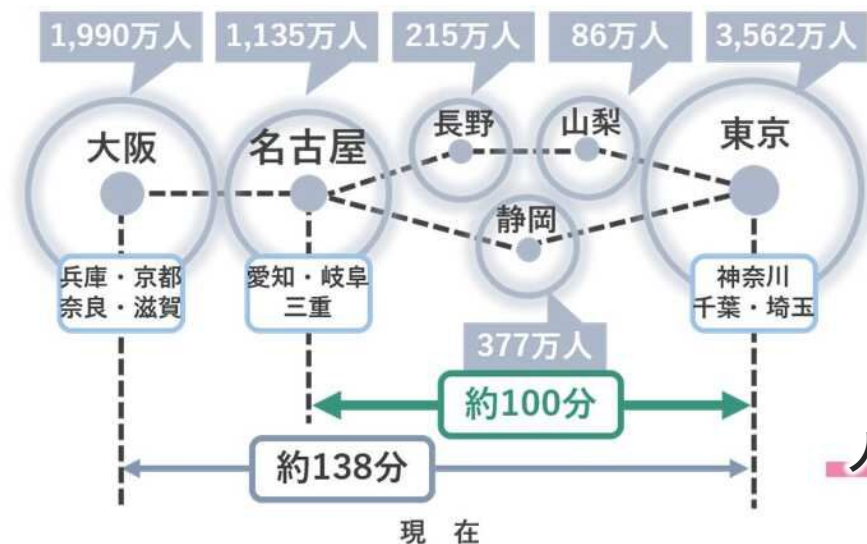


構想（案）の検討について

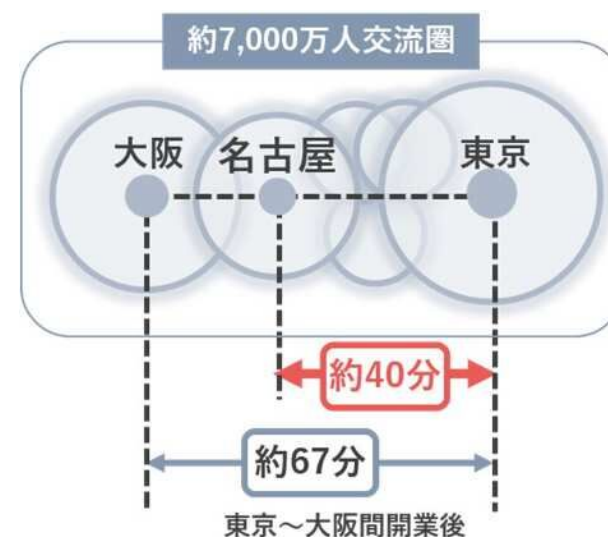
02 なぜいま 三の丸でまちづくり？

三の丸を取り巻く状況

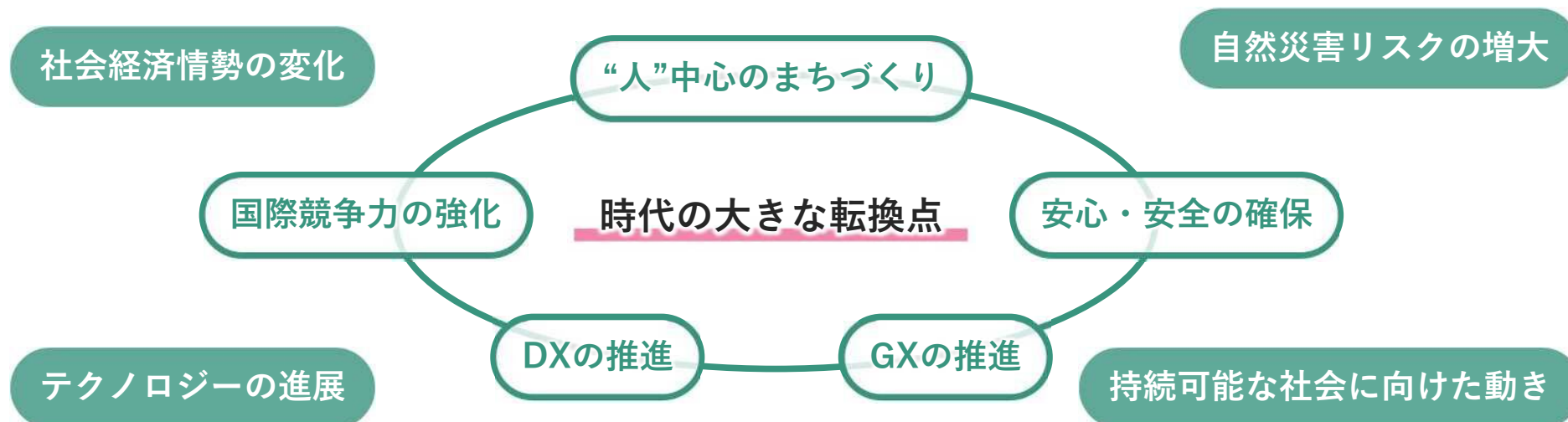
リニア時代の名古屋



人口構造の変化と
交流圏の拡大



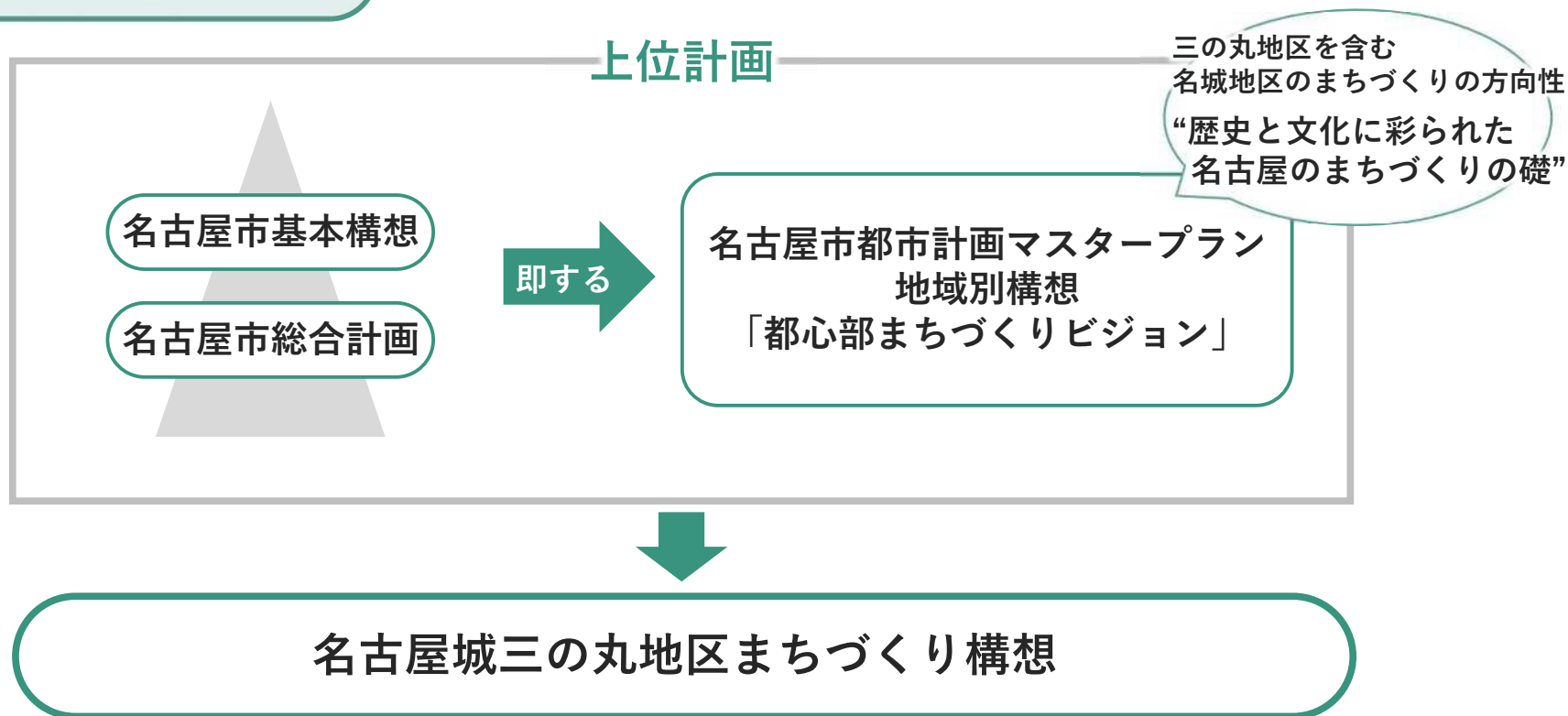
新たな潮流



構想（案）の検討について

02 なぜいま 三の丸でまちづくり？

三の丸を取り巻く状況



関連する主な個別計画

- ・ 特別史跡名古屋城跡保存活用計画
- ・ 世界の金シャチ横丁（仮称）基本構想
- ・ 名城エリアにぎわい共創基本構想
- ・ 堀川まちづくり構想
- ・ 名古屋交通計画2030
- ・ 名古屋市みどりの基本計画2030 など

国・県の計画

- ・ 中部圏広域地方計画
- ・ 愛知県地域強靱化計画

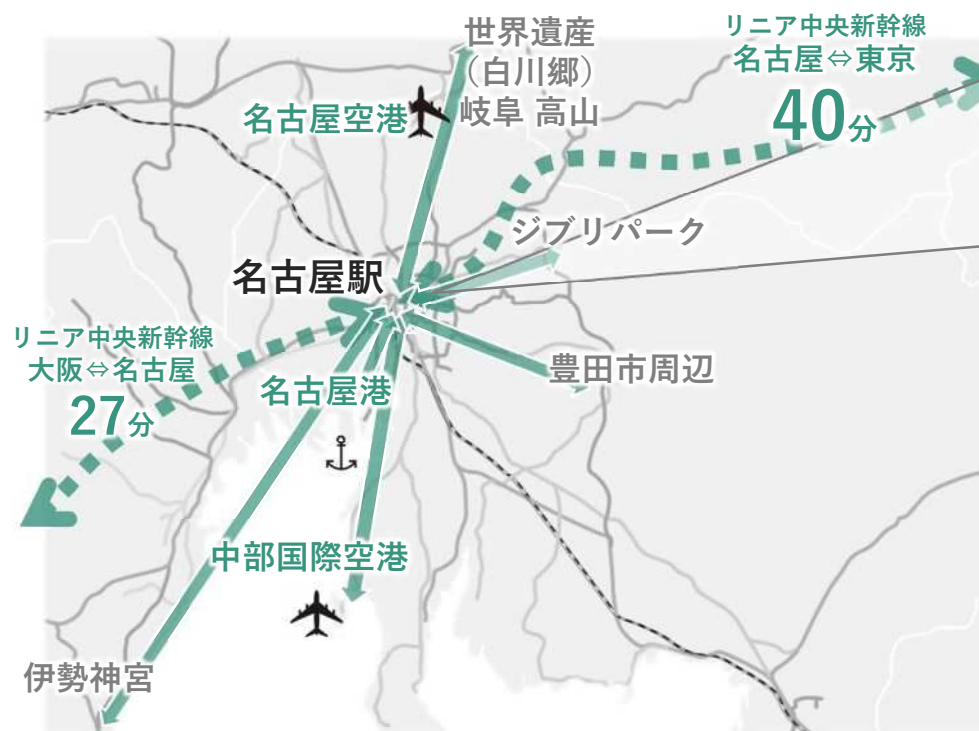
など

構想（案）の検討について

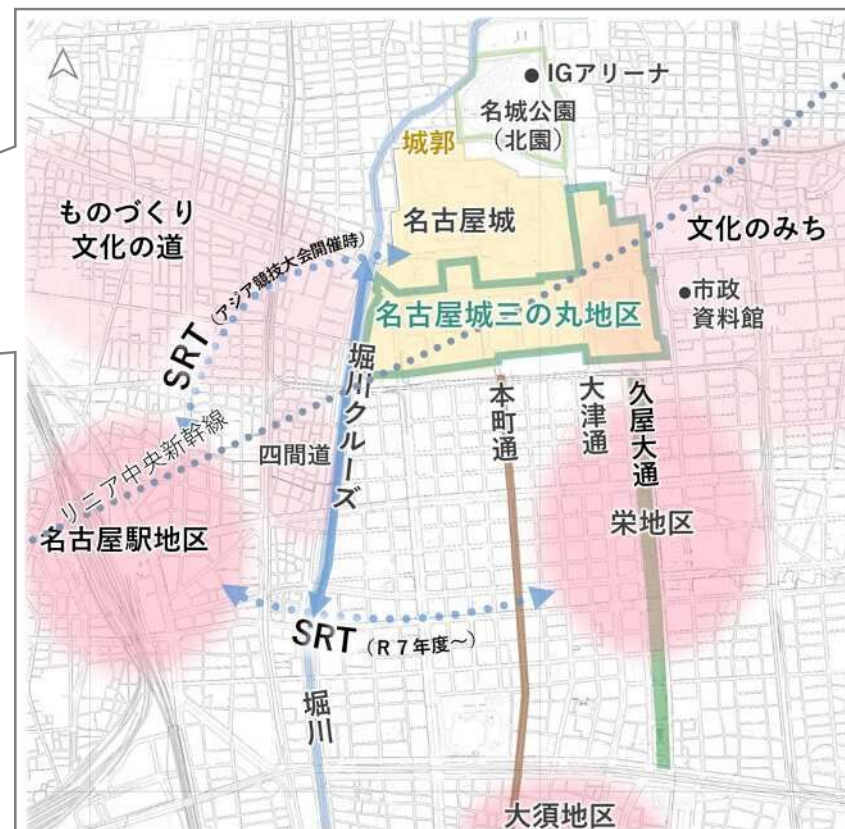
02 なぜいま 三の丸でまちづくり？

周辺から見た三の丸

名古屋は古くから交通の要所として発展



魅力向上が図られる名古屋駅地区や栄地区、歴史を感じられる名古屋城、文化のみち、ものづくり文化の道、大須地区が周辺に立地。



さらに、金山・熱田地区とともに、歴史・文化など地域資源に根差した縦軸のまちづくりが進められており、これらの拠点とともに名古屋大都市圏の持続的な成長をけん引する重要な拠点となるポテンシャルを秘めている。

構想（案）の検討について

02 なぜいま 三の丸でまちづくり？

三の丸地区への期待

名古屋三の丸
ルネサンス期成会

提言「三の丸再整備からはじまる城下町再生：三の丸ルネサンスの推進」

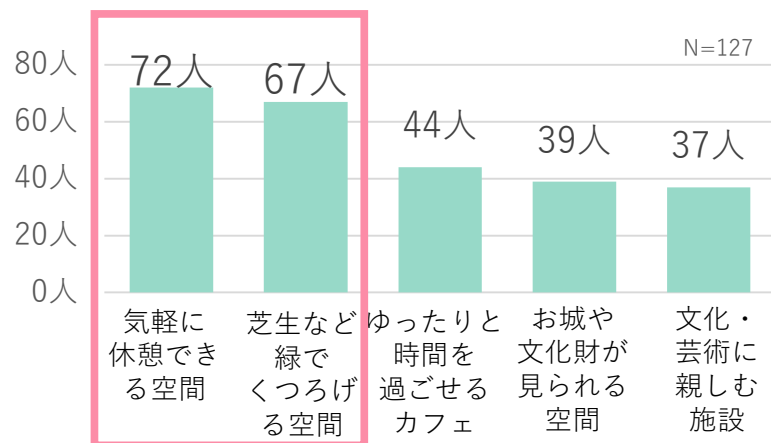
名古屋商工会議所
中部経済連合会

「東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言」

三の丸チャレンジ（社会実験）

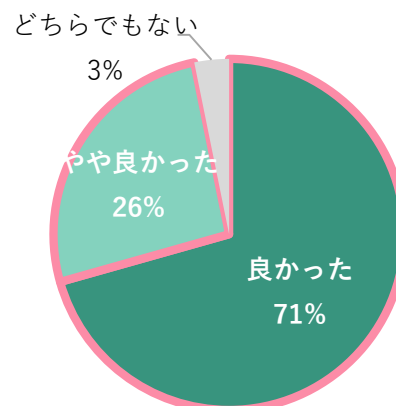
賑わいのあるまちづくりに挑戦する「三の丸チャレンジ」を実施。（令和6年11月2日、3日）
来訪者を対象としたアンケート調査結果より、当地区には城や文化財が見られ、憩える空間が求められていると考えられるとともに、空間の変化に対して、ほとんどの人が高評価。

憩える空間が高評価



【問】 官庁街以外の機能や空間としてほしいもの

空間の変化へ高評価



【問】 今回の社会実験で空間を変えたことによる評価

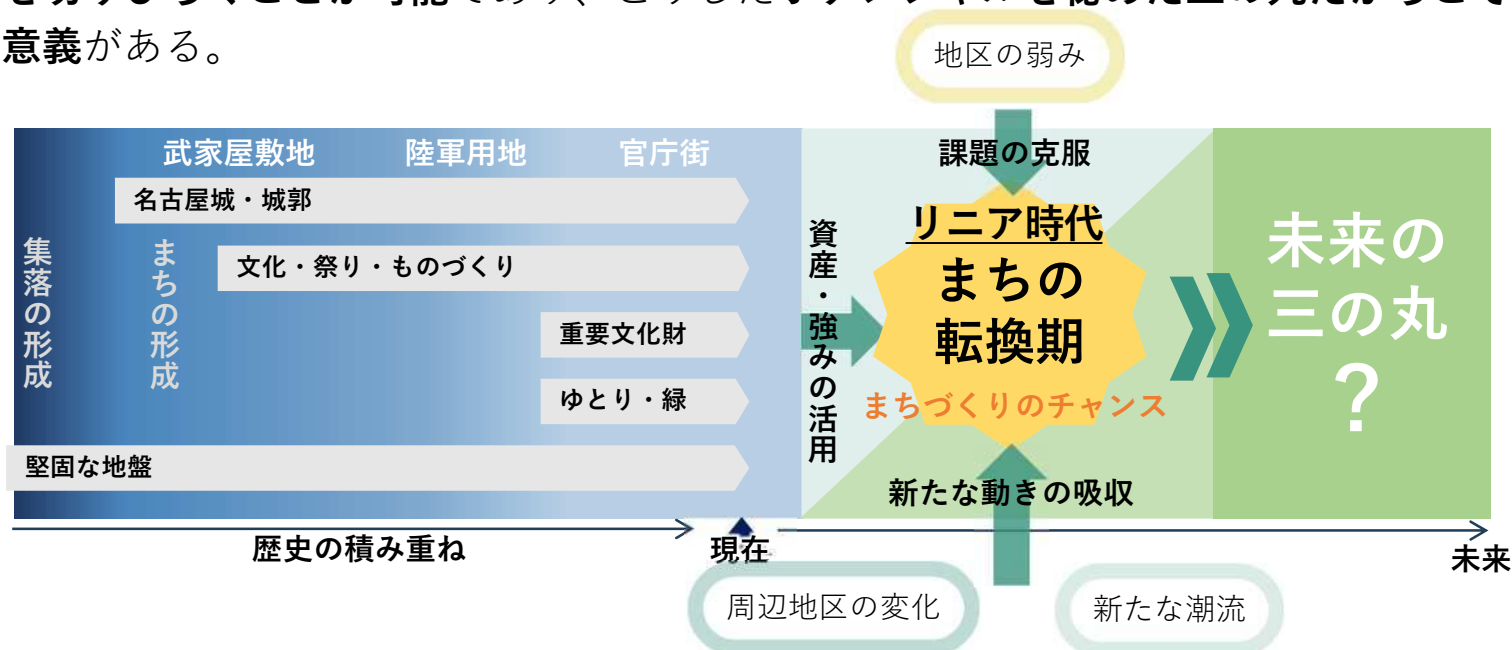


構想（案）の検討について

03 三の丸のまちづくりとは？

まちづくりの意義

- 名古屋駅地区や栄地区と同じ都心部に立地し、名古屋城と久屋大通公園の間に位置する名古屋城三の丸地区。
- 各時代でダイナミックに変化しつつも、特定の利用に限定される歴史を歩んできた一方で、長い歴史があるからこそ、**過去から受け継いだ守るべき資産**を多数有している。
- 時代の大きな転換点である今、**未来に向けたまちづくりを進めること**で、様々な期待に応えていくこと、さらに、**今後更新時期を迎える建物が多いという機会**を捉えれば、**まちとして大きな変化を期待**できる。
- 三の丸にしかない歴史を受け継ぎ、三の丸だからこそ期待される未来に応えるためには、**今まさに地区全体で新しいまちづくりに向けて動いていくことが求められている**。
- 「未来の三の丸」へと進化、変化を遂げることは、周辺に大きなプラス効果をもたらし、**あいち・なごやの新しい未来を切りひらくことが可能**であり、こうした**ポテンシャルを秘めた三の丸だからこそ、まちづくりに取り組む意義**がある。



03 三の丸のまちづくりとは？

まちづくりの基本的な考え方と理念

歴史を魅せ 未来を見せる 名古屋城三の丸

— 進化と変化で官庁街を“ひらく” —

今あるものを伸ばす『進化』



国・県・市の連携はもとより、民間との連携強化を図り、率先した社会課題解決や魅力向上、情報発信を行い、人口減少局面を迎える中でも成長と活力を生み続ける

今ないものを付加する『変化』

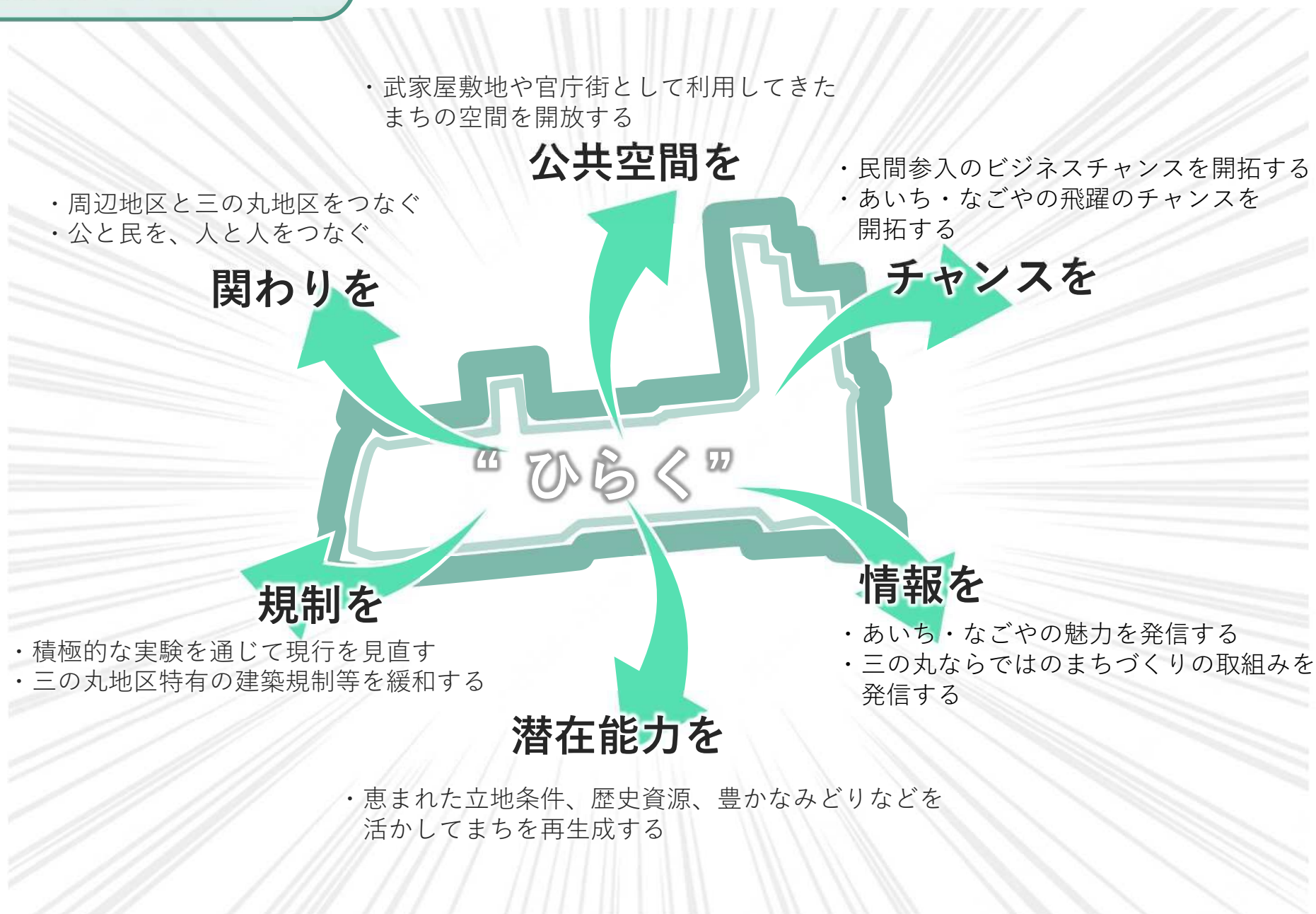


城郭内であることを活かして、経済活動や観光、交流、交通等の機能を新たに導入し、周辺地区とのつながりや都市の奥行と多様性を創出する

構想（案）の検討について

03 三の丸のまちづくりとは？

まちづくりの基本的な考え方と理念



構想（案）の検討について

04 めざすまち

まちづくりの基本方針と7つのめざすまち

基本方針Ⅰ 先進性で世界をリードするまち

めざすまち1 環境との共生を再構築するリジェネラティブなまち

めざすまち2 安心・安全を強化するレジリエントなまち

基本方針Ⅱ 多様な人々を惹きつけ、人が中心のまち

めざすまち3 国内外から人や企業を惹きつける、卓越した価値を発信するまち

めざすまち4 スマートで快適に移動できるまち

めざすまち5 おもてなしが沁みわたる、居心地の良いまち

基本方針Ⅲ 三の丸アイデンティティのあふれるまち

めざすまち6 あいち・なごやらしさを体感できるまち

めざすまち7 三の丸ならではの景観のあるまち

官庁街をひらき、多様な主体でつくり・育てる

構想（案）の検討について

04 めざすまち

基本方針Ⅰ

めざすまち1 環境との共生を再構築するリジェネラティブなまち



将来イメージ

- 環境と共生したまちの新たなモデルとなる先進的な技術やシステム、考え方などを取り入れ、脱炭素化を実現しています
- 名古屋城の外堀や街路樹など豊かで生物多様性にも配慮したみどりの再生成により、自然と調和したまちとなっています
- みどりの多面的な効果によって、高い創造性と幸福感を得られるまちとなっています

めざすまち2 安心・安全を強化するレジリエントなまち

将来イメージ

- 多様な主体が連携することで、建物やインフラ、コミュニティなどハード・ソフト両面で高い防災性能を有したまちになっています
- 高い業務継続性（BCD）を魅力に、国内外から人や企業などが集まっています
- 災害時には、地区内の行政機関が連携し、広域防災機能が発揮されます

構想（案）の検討について

04 めざすまち

基本方針Ⅱ



めざすまち3 国内外から人や企業を惹きつける、卓越した価値を発信するまち

将来イメージ

- 新たな機能誘導の余地を創出し、国内外の企業等の進出先や官民の連携拠点として、ビジネス交流やイノベーションが生まれやすい環境が整っています
- 三の丸地区にしかないみどりや景観、ゆとりある環境などを活かすことで、エリアとしてブランド化され、三の丸地区で過ごしたり、働くことがステイタスで、誰もが働きやすく、働きたいウェルビーイングなまちとなっています

めざすまち4 スマートで快適に移動できるまち

将来イメージ

- 名古屋駅や栄、金山、熱田など周辺地区からスムーズにアクセスできる交通ネットワークとインフラが整っています
- 最先端技術の活用により、多様なモビリティがシームレスにつながり、誰もが快適に移動ができます
- 環境にやさしく、歩行者中心の移動環境となっています

めざすまち5 おもてなしが沁みわたる、居心地の良いまち

将来イメージ

- 訪れる人や働く人が、まち歩きや憩い、出会い・交流など多様な楽しみを味わいながら、ゆっくり過ごせ、癒され、笑顔になれるウォーカブルなまちになっています
- 統一性のある案内・地区の歴史や文化の発信等により、初めて来訪した人が安心して滞在でき、親しみをもてるまちになっています

構想（案）の検討について

04 めざすまち

基本方針Ⅲ



めざすまち6 あいち・なごやらしさを体感できるまち

将来イメージ

- 愛知県内の様々な文化・地域資源を幅広く体感できるコンテンツが集結し、あいち・なごやを知る・学ぶ、深めることができます
- まちに滞在する付加価値や特別感を高め、世界中から訪れたいくなる、ブランド力の高いまちとなっています
- 「らしさ」を体感する場と機会を増やすことでシビックプライドや三の丸地区への愛着が醸成されています

めざすまち7 三の丸ならではの景観のあるまち

将来イメージ

- 新しい建物と重要文化財や名古屋城の歴史的建造物が調和し、風格ある街並みを感じることができます
- 街並みに溶け込んで、日常的に様々なアクティビティが行われ、活気や賑わい、ふれあいなど多種多様な人々の活動風景を見ることができます
- 城郭内の三の丸ならではの景観・風景が多くの人に響く魅力となっています

構想（案）の検討について

04 めざすまち

将来イメージ



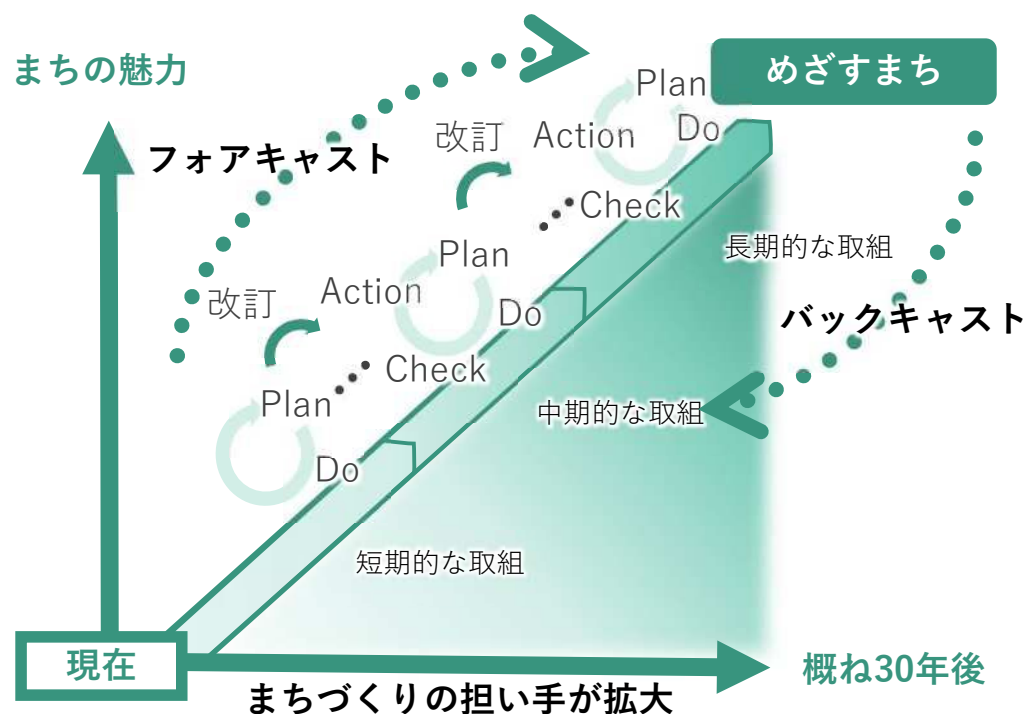
構想（案）の検討について

05 めざすまちの実現に向けて

まちづくりの進め方

柔軟で機動的なまちづくりを実施

計画内容を適宜具体化・更新していきながら、機動的にまちづくりを進めていく。

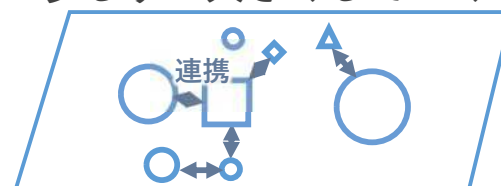


多様な主体を増やししながら段階的にまちづくりを進めていく

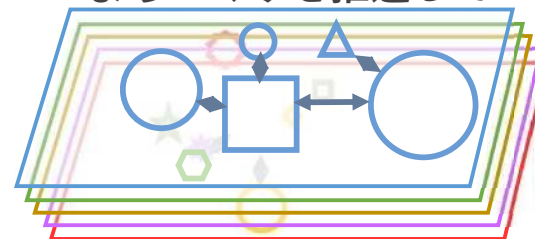
Step1 できるところ・
小さい取組みからはじめる



Step2 取組みをつなげて
少しずつ大きくしていく



Step3 まちに関わる主体を増やし、
まちの機能を創出し、
まちづくりを推進していく



〈主体〉〈まちの機能〉

地権者 行政

多様な主体

賑わい・交流

+

民間
民生
専門家
まちづくり
コーディネーター
・
・
・

+

観光
経済
文化
・
・
・

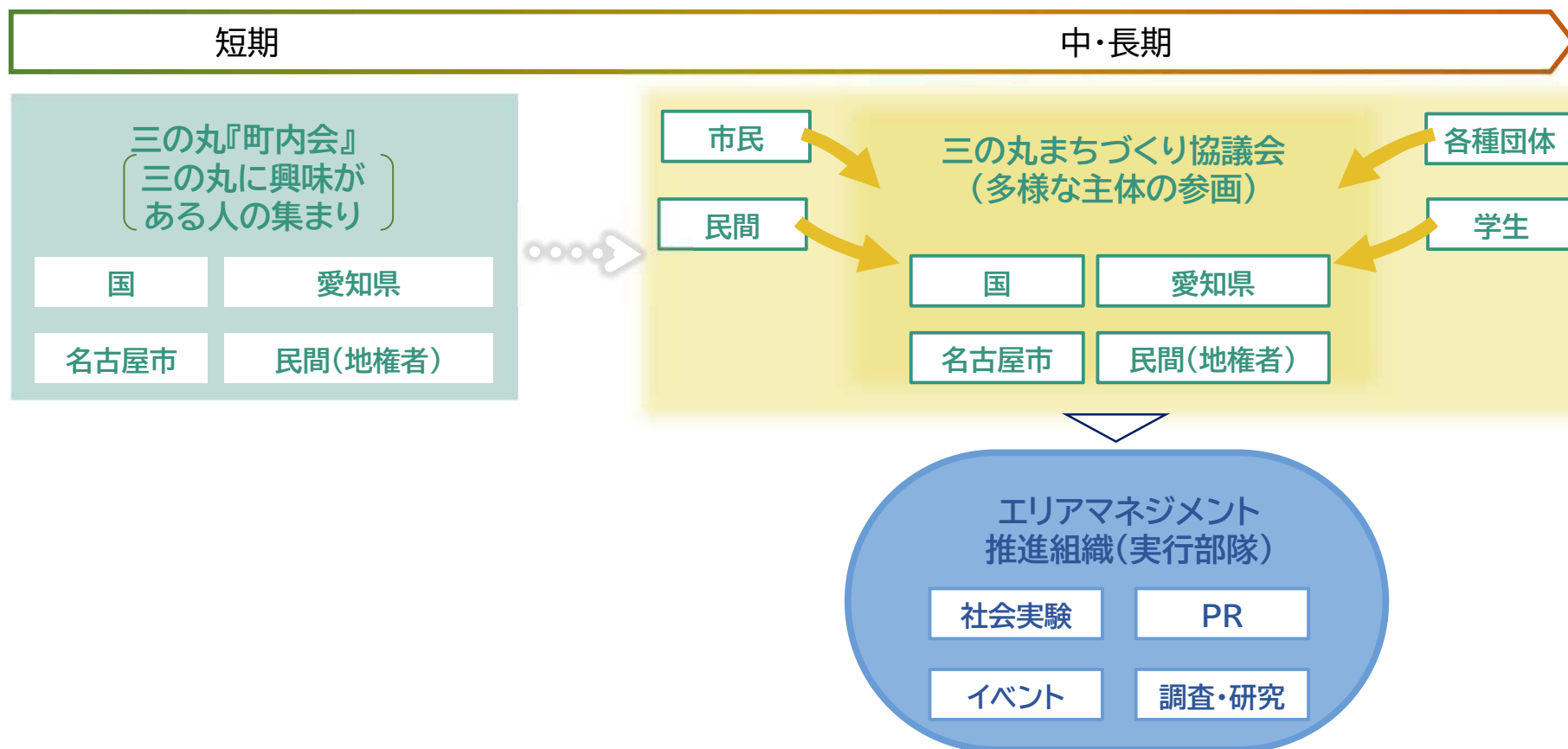
構想（案）の検討について

05 めざすまちの実現に向けて

まちづくりの推進体制

多様な主体が参画するまちづくり協議会を構築し、まちづくりを推進

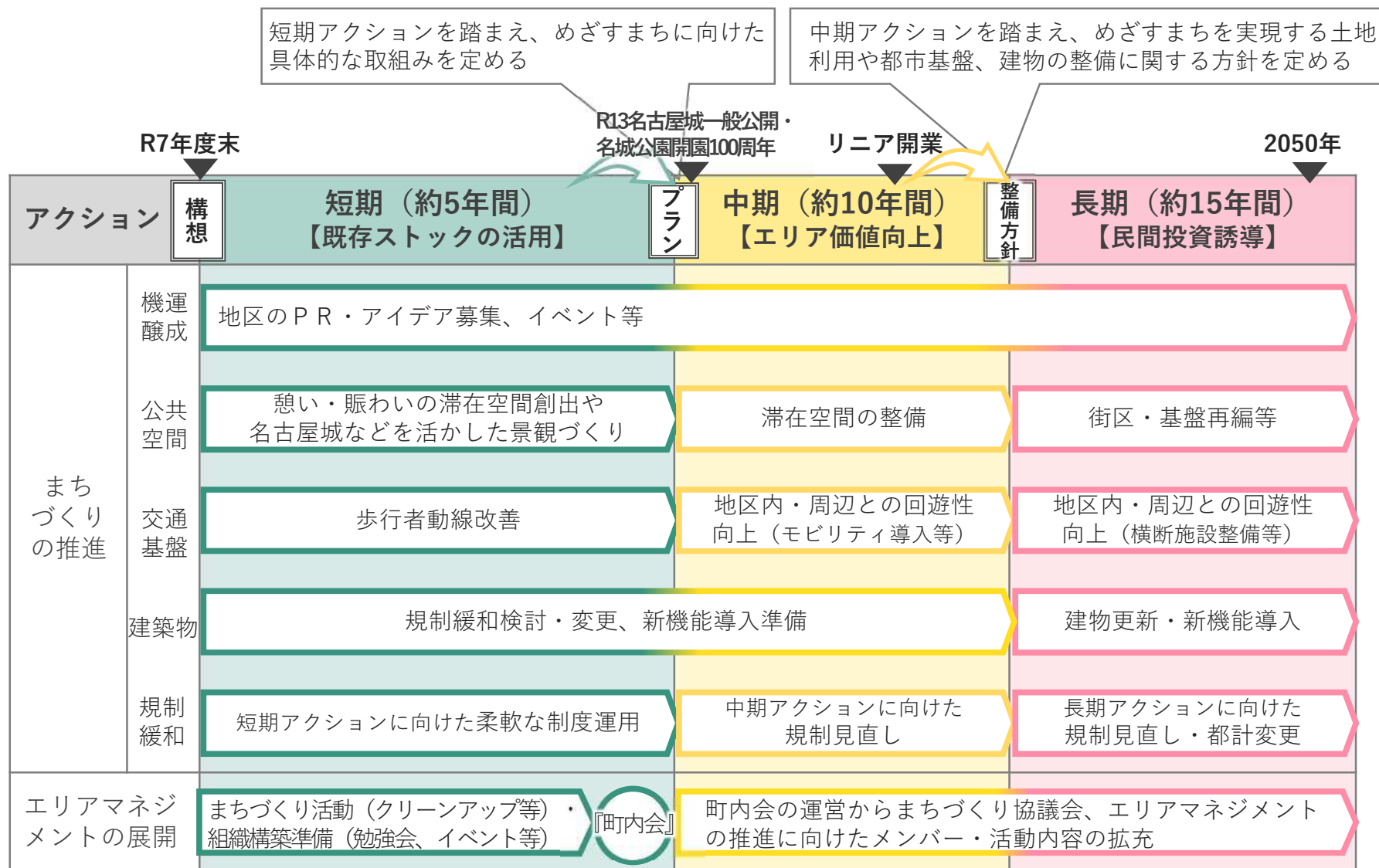
- 三の丸に興味がある人から、徐々に外部の主体を巻き込みながら、多様な主体でまちづくりを協議・検討するまちづくり協議会をつくる。これまで三の丸に携わったことがない人や若い世代の人々などがまちづくりに参画しやすい環境づくりに配慮する。
- その方針のもと各種の取組（情報発信、魅力的な空間の形成など）を実践するエリアマネジメント推進組織を設置。



構想（案）の検討について

05 めざすまちの実現に向けて

ロードマップ



構想（案）の検討について

05 めざすまちの実現に向けて

ロードマップ〔短期アクションプラン〕

【短期（～R12）における地区内及び周辺の主な動き】

- ・名古屋第4地方合同庁舎の竣工（R8.3）
- ・SRTの運行開始による名古屋駅地区との利便性向上
- ・I Gアリーナ開業による来訪者の増加
- ・名古屋城一般公開・名城公園開園100周年を目途とする拠点形成
- ・金シャチ横丁第二期整備（多目的休憩所）による新たな賑わいの創出

機運醸成

新しくなる三の丸地区の
イメージを共有

構想策定後（R8～）の取組みの方向性

三の丸地区が**新しくなるイメージを浸透**

- ▶ 地区のアイデア募集
- ▶ イベントの実施

など

公民共創

“ひらく”の実行主体を
増やしていく

目に見えるアクションを実施し次の**ひらく主体をみつける**

- ▶ 民間提案を募集・事業実施
- ▶ 行政・部署横断的な活動（前庭、道路、公園等）

など

体制構築

将来を考えていく
仲間づくり

地権者等と**連携**し、地区の**未来を共創**する

- ▶ まちづくり『町内会』発足に向けた勉強会の実施
- ▶ 多様な主体の参画に向けた**アクションのコーディネート**

など

構想（案）の検討について

05 めざすまちの実現に向けて

ロードマップ〔短期アクションのイメージ〕



意見交換事項

- 構想（案）の検討内容について
- 構想策定後の進め方について

今後の進め方

令和6年度

8月～ 庁内会議、地権者等意見聴取

第1回 有識者懇談会（R6.9.9）

10月～ 庁内関係課や地権者等への意見聴取・調整等

第2回 有識者懇談会（R7.2.4）

3月末 まちづくり構想素案とりまとめ

4月～ 庁内関係課や地権者等への意見聴取・調整等

8月 市民向け講演会

令和7年度

第3回 有識者懇談会（R7.10.16）
・まちづくり構想の策定に向けて

11月 市民向け講演会

必要な手続きを経て、R8.3策定予定